

プチ里親の方からの勉強会のお知らせです

2012年9月26日

「彦根市の地域医療を守る会」第16回 勉強会 について

日 時 : 平成24年10月20日(土)10:00~11:30

場 所 : 彦根市立病院 医療情報センター

テーマ 『 救急車の適正な利用について 』

講 師 : 彦根市消防本部警防課救急管理係 窪 田 讓 氏

テーマ 『 おもしろくてためになる心臓の話

メイ、サツキ、ハクのアニマルセラピー 』

講 師 : 彦根市立病院 循環器科部長 綿 貫 正 人 先生

☆ 詳しくは →→→ [彦根市の地域医療を守る会16回.pdf](#)

永源寺等東近江方面での宿泊研修に里親登録学生が参加しました！

2012年9月14日

「永源寺等東近江方面の医療と歴史・文化を学ぶ」と題し、8月28日(火)29日(水)の2日間、NPO法人滋賀医療人育成協力機構が実施する宿泊研修に本学里親登録学生12名が参加しました。



1日目は、まず、東近江市役所を訪問し、西澤市長から東近江市の医療状況、国立病院機構滋賀病院及び東近江市立の2病院の病院改革といった東近江市の医療政策についてのお話を伺い、知識を広げたうえで、東近江市立蒲生病院を訪問しました。蒲生病院では、加藤院長の挨拶の後、徳田事務長より蒲生病院の概要や東近江市における病院の整備計画等についてのお話を伺いました。その後、休床中の病棟等、院内見学をさせていただきました。



東
近
江
市
役
所

の様子



蒲生病院の屋上にて

午後からは、里親であり、NPO法人滋賀医療人育成協力機構の理事でもある花戸先生の永源寺診療所を訪問させていただきました。まず、診療所内を見学させていただいた後、永源寺診療所が行っている「在宅医療」「地域包括ケア」「地域とともに」というテーマで診療所での先生の活動についてご講演をいただきました。また、同診療所で研修中の研修医2年目の2名の先輩医師からも学生に向けてアドバイスをいただきました。



その後は、東近江の歴史・文化を学ぶことを目的に臨済宗永源寺派の大本山である永源寺をボランティアガイドの案内により見学しました。



1日目の最後は、宿泊場所の「クレフィール湖東」での交流会でした。交流会第1部では、フォトジャーナリストの國森康弘さんから、ごく自然な家庭での介護の様子や家族の病人へのかかわり方、そしてその中での医師の役目等を考えさせられる写真を見せていただきながら“看取り”についてご講演いただきました。引き続き、NPO法人滋賀医療人育成協力機構の副理事長である小串医院の小鳥先生からは、「医師不足・医療崩壊の危機の中で地域の医療福祉の連携により住民を支える三方よし研究会の歩みと挑戦」というテーマで東近江圏域の地域医療連携の取り組み等についてご講演いただきました。



また、交流会第2部では、西澤東近江市長を始めとする訪問先の方々・里親やプチ里親の方々等にもご参加いただき、それぞれのお立場からご意見をいただきました。学生や教職員からは本日の研修の報告や意見を発表する等、貴重な交流の場となりました。



2日目は、まず、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された「五個荘金堂の町並み」にある、近江商人屋敷を見学しました。

その後、学生達は、3班に分かれてそれぞれ「結の家デイサービスセンター」「デイサービスセンター加楽」「障害者就労継続支援 湯屋の里」に研修に伺いました。



午後からは、本研修の最後の訪問先である国立病院機構滋賀病院に伺いました。まず、本学卒業生でもある井上院長よりご挨拶をいただいた後、学生達から自己紹介を行いました。そして、来見副院長より「東近江の医療について」のお話を伺い、その後、2班に分かれて院内をご案

内いただきました。その際には、新病棟の建築現場等も見せていただき、1日目に西澤東近江市長からのお話にもあった、東近江の地域医療再生に向けた取り組みが着々と進んでいることを感じ取ることができました。また、3年前に滋賀病院を訪問した教職員からは、当時に比べて医師、看護師等のスタッフが増え、閉鎖されていた病棟が再開され、活気がみなぎっているとの感想も聞かれました。最後に前田内科診療部長から「東近江市の地域特性と疾患」というテーマでご講演いただきました。ご講演では、東近江地域特有の症例をご提示いただきながら、地方の病院に勤務していても論文等を発表することにより、世界に向けて様々な情報を発信できることを学びました。



今回も、また、多くの方々にご協力いただき、学生達にとっても東近江における地域医療や歴史・文化を理解する大変有意義な研修になったようです。この場をお借りして、ご協力いただきました訪問先を初めとする皆様方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。